



安曇野ふるさとづくり  
応援団

# パートナー通信安曇野 第43号

発行：NPO法人 安曇野ふるさとづくり応援団  
安曇野市穂高柏原1132-2 (有)ライフポート安曇野内  
TEL：0263-81-1325  
URL：http://azumino-furusato.com/

2017.8.22

構成：木船



## みみより情報①

### 「第25回ふるさとウォッチング in安曇野」を開催します！

今回は三郷の  
中萱地区！

25回目の「ふるさとウォッチング」は、貞享義民の歴史を今に伝える三郷中萱地区で10月1日(日)に開催します。コースは、貞享義民記念館を起点に多田加助にまつわる史跡や安曇野最大のお船がある熊野神社、屋敷林や道祖神が点在する素朴なまちなみな

ど約3.5キロ。また、散策後には安曇野産有機米を“ぬかくど”で炊いたおむすびを味わって参加者同士の交流を深めます。「ふるさとパートナー」の参加費は無料なので、秋の安曇野を一緒に歩きませんか？詳しくは別紙案内をご参照ください。



## みみより情報②

### 「風景の語り部育成講座」のご案内。

県の建築課主催で、応援団が講師を派遣して協力している「風景の語り部育成講座」。3年目となる今年度は、昨年世界かんがい遺産に登録された拾ヶ堰をテ

マに、9月～12月にフィールドワークを主体とした連続講座として開催します。講座修了者には修了証が交付され、風景の語り部として登録されると共に、今後定期

的に県から情報提供が受けられます。尚、9月13日(水)の県立歴史館長の笹本正治氏の基調講演のみの参加も可能です。詳しくは別紙案内をご参照ください。

## みみより情報③

### 平成29年度「不用食器回収」のご案内

「不用食器リサイクル」実行委員会は、今年で4回目となる市民からの不用食器回収会を、下記の予定で開催いたします。

この活動は、家庭で不要になった食器を回収して、必要な人に引き取ってもらうことによる再利用促進のみならず、岐阜県にある陶器製造業者に陶器の原料として提供することにより、今までごみとされてきたものを資源として再利用することを目的としています。また、産業廃棄物としての「埋め立

て量」の軽減をも図る活動です。10月7日、8日に開催される「環境フェア」にも回収陶器を展示し、食器の入用な方への提供を図ります。

廃棄物の埋め立て処分量の減少実現や、食器の再利用または陶器原料としての再利用への意識を、広く安曇野市民の中に定着させたいと思っておりますので皆様の協力と参加をお願いいたします。



👉 前回食器回収の様子

回収日：平成29年9月24日(日)9.00～11.00まで  
もったいない市：平成29年9月25日(月)～9月26日まで  
会場：安曇野市豊科南穂高「県民豊科運動広場」

環境フェア展示  
平成29年10月7日(土)8日(日)  
会場：安曇野市堀金総合体育館

## 報告① 東京で「安曇野暮らしセミナー」が開催されました。

去る6月10日(土)に、東京、有楽町の東京交通会館において安曇野暮らし支援協議会主催の「安曇野暮らしセミナー」が開かれました。今回は今までのすべての年代を対象とするセミナーではなく、若い年代のみを対象とし、「はたらく・そだてる」をセミナーのメインテーマとしました。

空き家バンクとお試し住宅について、地域おこし協力隊の高尾さんが説明した後、「はたらく」について、協議会副会長で商工会の中澤さんと市の商工労政課の村上さんに「安曇野市の就労状況」について話していただきました。

「そだてる」については公立こども園の太田園長さんや野外保育「

くじら雲」の依田園長さんのお話しに加え、安曇野での暮らしと子育てについての移住体験談を長坂さんにしていただきました。個別相談会も時間いっぱい熱心な相談が相次ぎ、充実したセミナーとなりました。

☞「夏の安曇野体験会」の様子。

## 報告② 「夏の安曇野体験会」を開催しました。

子育て中の移住希望者を対象にした現地体験ツアー「夏の安曇野体験会」を、8月5日(土)に開催しました。ふるさとづくり応援団も協力している「安曇野暮らし支援協議会」が主催する現地体験ツアーは毎年冬に開催していますが、今回は初の試みとして夏にも現地体験ツアーを開催しました。当日は首都圏から3世帯12

名の移住希望のご家族にお越しいただき、市内の公立認定こども園や民間の野外保育施設「森の子」の現地見学や、子育て中の移住者のお宅の訪問、就職や企業についての情報提供を行いました。

今後も移住セミナーや現地体験ツアーを企画していく予定です。



## 報告③ 「安曇野さとやまさんぽ～明科長峰山～」が開催されました。

4回目となる「さとやまさんぽ」は大足の清水山光久寺をスタートして、長峰山の東側の林道や山道を進むコースで行われました。長峰山登山といえば長峰荘の裏手の登山道から登るか、光城山から縦走してくるコースが一般的なので、今回のコースは初めての方ばかりということで、どんな発見があるかと期待を膨らませていただいたようです。

スタート地点の光久寺では長野県宝に指定されている薬師堂をはじめ、鎌倉時代に彫られた同じ県宝の日光・月光菩薩立像を

拝観。教育委員会の逸見さんの解説をお聴きしながら二体の仏像の童顔っぽさが残る中にも凛とした表情の美しさに感嘆の声が上がっていました。

光久寺からは清水集落の棚田を左手に眺めながら暫く舗装された道を歩きます。湧水を利用して地滑り跡地を水田にしたとのこと、大変な苦労があったことがしのべられます。次いでアルプスの展望台とでもいうべき出水ヶ丘を経て矢ノ沢の山の神社に参拝、その後舗装道路歩きが続きますが、長峰山への標識がある小道に

入ると快適な遊歩道に変わります。ヒンヤリとした空気感が長峰山の裏側？であることを実感させてくれます。そして安曇野で最も標高の高い水田跡の湿地を経て蝶の森へ。残念ながら蝶には出会えませんでした。森倶楽部21の皆さんが整備された里山のコースを堪能しながら長峰山頂に到達しました。

山頂では各自持参したお弁当に舌鼓を打ち、お約束の山座道程を楽しんでから登りと同じコースを戻りました。

## 報告④ 「穂高宿七夕祭り」が開催されました。

旧千国街道の賑わいを取り戻そうと、3年前から山の日の8月11日に開催している穂高宿の七夕祭り。今年は数十年ぶりに歩行者天国が復活し、歴史的なまちなみが残る旧道が幻想的なランタンとライトアップで彩られました。歩行者天国では浴衣姿の女性が安曇節を踊って練

り歩き、蔵造りの建物の前では子ども達がお囃子を披露。心配した雨にも降られず、会場は多くの夜店と大勢の家族連れで大賑わいとなりました。来年以降も歩行者天国を継続し、山の日の夜を彩る夏の風物詩として、少しずつ規模を拡大して開催していく予定です。

